

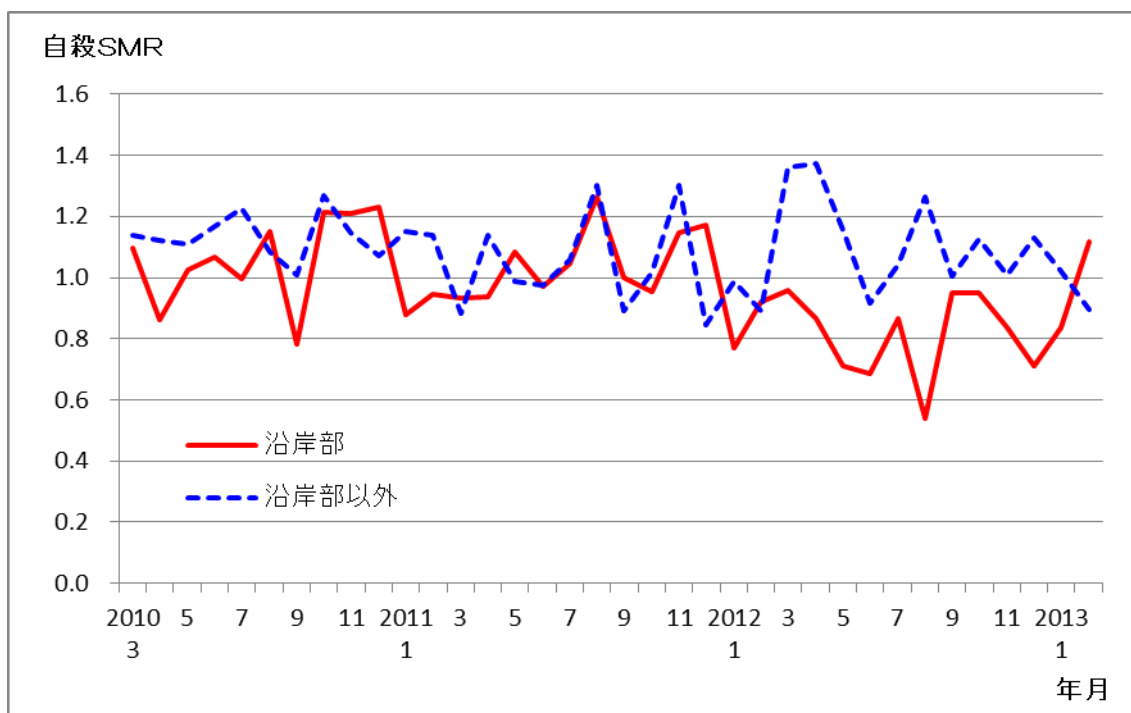
「人口動態統計に基づく東日本大震災後の自殺死亡数：  
岩手県・宮城県・福島県の沿岸部と沿岸部以外の推移」

東日本大震災前後の自殺死亡の変化について、岩手県、宮城県と福島県の3県で沿岸部と沿岸部以外の市町村別に、人口動態統計に基づいて検討しました。3県全体の自殺死亡数をみると、震災前1年（2010年3月～2011年2月）が1,457人、震災0～1年（2011年3月～2012年2月）が1,331人、震災1～2年（2012年3月～2013年2月）が1,220人でした。

図に、震災前と震災後2年間の自殺SMRについて、3県の沿岸部（赤色の実線）と沿岸部以外（青色の破線）ごとに月別に示します。自殺SMRは、当該地域の年月・性・年齢階級別の自殺死亡率における、3県以外の全国の同年同月・性・年齢階級別の自殺死亡率に対する比の平均を指し、1.0より大きいときに自殺死亡率が全国より高いことを、逆に、1.0より小さいときに低いことを表します。

震災後2年間を通して、自殺SMRは3県の沿岸部と沿岸部以外ともに上昇傾向がみられませんが、震災前の自殺SMRに対して、震災0～1年の自殺SMRの比は0.92倍、震災1～2年の自殺SMRの比は0.93倍であり、いずれも低い傾向でした。3県の県別の沿岸部と沿岸部以外ごとにも、震災前の自殺SMRに対する震災0～1年と震災1～2年の自殺SMRの比0.73～1.07倍であり、高い傾向がみられませんでした。

図. 岩手県、宮城県と福島県の沿岸部・沿岸部以外の市町村別、  
自殺SMRの推移



以上、岩手県、宮城県と福島県の沿岸部と沿岸部以外において、震災から2年間には自殺死亡率の上昇傾向がみられませんでした。中長期的に観察を継続していくことが大切であると考えています。（「眞崎直子, 橋本修二, 川戸美由紀, 尾島俊之, 竹島正, 松原みゆき, 三徳和子, 尾形由起子. 人口動態統計に基づく東日本大震災後の自殺死亡数：岩手県・宮城県・福島県の沿岸部と沿岸部以外の推移. 日本公衆衛生雑誌, 2018:65」（印刷中）を参照）

（眞崎直子）